

番号

## 活動報告書

市町村（学校組合）名 学校法人名等	四万十市
担当課・担当者職氏名	学校教育課 総務係長 梶谷 卓志

テーマ	森林体験学習を通して、地域の自然や環境について考え、行動できるようになる。		
学校名（学年）	四万十市立東中筋小学校（全学年）	対象児童・生徒数	52人
概要及び実施内容	<p>1 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○海、川、山のつながりを体験学習を通して考え、豊かな海を支える森林の役割や環境について学ぶとともに、森林環境を守っていこうとする意識を高める。</li> <li>○森林学習を通して、地域社会との交流を深め、自ら学び・考え・活動する中で、ふるさと四万十市の自然環境のよさを再認識する。</li> </ul> <p>2 活動内容</p> <p>（1学期）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○森林環境学習（西土佐地域での体験学習を通して森林環境学習を行う（5年） <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の役割、山、川、海のごつなごりについて学習する。</li> <li>・森林での活動体験を通して多様な恵みを与える森林環境について学習する。</li> <li>・黒尊より奥屋内までサイクリングをしながら森林の素晴らしさを体感する。</li> <li>・実際に豊かな森林環境の中で守られているふるさとの大河「四万十川」でカヌー体験をする。この体験を通して、水面の風を感じ、山々から聞こえる鳥のさえずりを感じ、五感を使って森林の素晴らしさを体感できる。その体験の上で豊かな森林と川のごつなごりについて考える。（四万十学舎）</li> </ul> </li> <li>○環境絵日記への応募（全学年）</li> </ul> <p>（2学期）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○木工教室（木材等を材料にした木工教室を行い、木の活用方法を学ぶ） <ul style="list-style-type: none"> <li>・木工クラフト（1～4年）</li> </ul> </li> </ul> <p>（3学期）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○森林体験学習（森林の働きの学習とシイタケの駒打ち体験）（5年） <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の働きについて学習する中で、森林の恵みについて考える。</li> <li>・森林の贈り物の一つであるキノコについて知る。</li> <li>・シイタケの駒打ち体験を通して、森林に興味を持つ。</li> </ul> </li> <li>○木工教室（木材等を材料にした組子細工教室を行い、木の活用方法を学ぶ） <ul style="list-style-type: none"> <li>・組子細工のコースターづくり（6年）</li> </ul> </li> <li>○森林教室（森林の土壌に住む生物）を行い、落ち葉や枯れ木などが堆積し、微生物が分解することによって、豊かな森林の栄養分が形成され、川を通じて海の栄養分にもなることを学習する。（6年）</li> <li>○まとめ…学習のまとめと発表（5年） <ul style="list-style-type: none"> <li>・感想文、作文集</li> <li>・発表朝会・学習発表会等での発表 「豊かな海を支える森林」 「海と山、川のごつなごり」 「ふるさと体験学習」 など</li> </ul> </li> </ul>		
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○森林学習や森林体験学習を通して、森林の素晴らしさや環境の大切さを一人ひとりが体感するとともに、この素晴らしい自然が多く残されている高知県や四万十市、自分たちの住む東中筋地域に誇りを持つとともに、今後もみんなで森林や自然環境を大切に守ろうとする意識の向上にごつなごった。</li> <li>○木工クラフトや組子細工での工作、シイタケの駒打ち体験、土壌中の微生物等の学習を通して、森林と自分たちとのかかわりについて楽しみながら意欲的に学習することができ、木材の良さや利便性、森林環境のすばらしさについても理解し、森林や自然環境に対する興味・関心、意識の向上にごつなごった。</li> <li>○環境絵日記（全校）、環境学習感想等を書き出品や応募することで、森林や環境に対する意識の向上、併せて意識の高まりにごつなごった。</li> <li>○学習したことを学習発表会や子ども高知新聞、学校通信等で保護者、地域に広く発信することで、身の回りにある自然環境の素晴らしさを再認識するとともに、地域に誇りを持ち、自然環境を守っていこうとする意識にごつなごった。</li> </ul>		

（注）

- 1 子どもたちの振り返り、授業で用いた資料、子どもたちの活動の様子を写真等で編集したもの等、活動日の取組状況及び参加者の様子が分かるものを学校単位（各計画毎）で併せて提出してください（様式任意）。印刷したものを添付のうえ、できるだけデジタルデータをメールにて提出してください。
- 2 活動報告書の内容および写真は、ホームページ、パンフレット等で公開する場合がありますので、写真等も含め、該当者への同意を得て作成してください。
- 3 事業を通じて得られた成果（児童・生徒の気づき、変化等）を簡潔に記載してください。

# 令和2年度 高知県山の学習支援事業活動報告書

四万十市立東中筋小学校

## 1、目的

- 海、山、川のつながりを、体験学習を通して考え、豊かな海を支える森林の役割や環境について学ぶと共に、森林環境を守っていかうとする意識を高める。
- 森林学習を通して、地域社会との交流を深め、自ら学び・考え・活動する中で、ふるさと四万十市の自然環境のよさを再認識する。

## 2、活動実績

### ●森林環境学習(西土佐地域での宿泊学習を通して森林環境学習を行う) (5年)

- ・森林の役割、海と山のつながりについて学習する。
- ・多様な恵みを与える森林と環境について学習する。
- ・黒尊(大駄場)より奥屋内までサイクリングをしながら森林の素晴らしさを体感するとともに、豊かな森林資源に囲まれているふるさとの良さを実感する。
- ・カヌー体験を通して豊かな森林と川のつながりについて考える。

#### ①ねらい

- 野外活動を通して、四万十市やふるさとの自然や魅力をより深く知り、郷土を愛する心を育てる。
- 様々な活動を通し、仲良く協力し、集団での約束やマナー等について学ばせる。
- 山、川、海の働きやつながりを理解し、自然環境・森林環境保護への理解と態度を身につけさせる。
- 地域の方々を講師として招聘し、山、川を中心とした体験活動や交流を行う。

#### ②実施期日

- ・令和2年7月27日(月)

#### ③実施学年・児童数・引率

- ・第5学年(12名)引率3名(校長・5年担任・養護教諭)

#### ④活動場所及び講師(四万十楽舎インストラクター)

- ・大駄場より奥屋内下集会所までサイクリング
- ・四万十楽舎(四万十市西土佐半家)でカヌー体験

#### ⑤各教科との関連

##### ○事前学習

- ・(特活)森林環境学習の計画をたてよう
- ・(道徳)「一ふみ十年」〔自然環境を大切にすること〕  
D-20<自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること>

- ・黒尊の環境について

##### \*黒尊について調べよう

講師招聘：四万十市教委 川村慎也さん

##### ○事後学習

- ・(道徳)「友のしょう像画」〔真の友情〕  
B-10<友情、信頼>

## ⑥日程

### ■ 7月18日(木)

8:00	学校集合	◎自転車運搬(校長)→大駄場
8:15	学校発	
8:55	久保川道路工事時間規制あり(8:50~9:00に通過)	
9:50	大駄場着 休憩 開会式・諸注意・日程説明	
10:05	大駄場から自転車で奥屋内下集会所へ向けて出発	
	大駄馬→神殿橋(紅葉)→軌道跡→黒尊神社奥の院(卵)	
	→黒尊神社(大杉)→お菊の滝	
12:00	奥屋内下集会所 昼食(持参のおにぎり)	
12:30	奥屋内下集会所発	
	→四万十楽舎へバスで移動(自転車は校長運搬)	
13:20	四万十楽舎着(あいさつ、着替え)	
13:40	四万十楽舎下の四万十川でカヌー体験	
14:40	四万十楽舎で着替え	
15:20	四万十楽舎発(閉会式)	
15:55	久保川道路工事時間規制区間通過(15:50~16:00の間に通過)	
16:30	学校着 解散	

## ⑦児童の感想

### ○『自然のくらし』

僕たちが楽しみにしていた宿泊学習でしたが、今年はコロナの関係で日帰りになってしまいましたが、とてもいい学習になりました。その日は、あいにくの雨だったので、カッパを着てサイクリング開始です。最初は神殿橋モミジなどを見て美しい気分になりました。まだ、紅葉はしていなかったけど観光客がたくさん来ると知りました。次に森林鉄道軌道跡もすごかったです。また昔の人は、水力を使って大きい木を製材したり、いかだで流したり黒尊川を利用していることがわかりました。黒尊神社の杉の木はとてつもない迫力でした。なんと500年以上たっているなんて、予想以上でした。みんなが楽しみにしていた奥の院の卵は面白かったです。ぼくは割れましたが、みんなはげましてくれましたので、うれしかったです。

サイクリングをしてみて楽しかったのもあるけど、一番分かったのは、黒尊地区は山の暮らしと川の暮らしがあったということです。サイクリングが終わって四万十楽舎にバスで移動しました。そこでインストラクターの方と四万十川でカヌーをしました。最初は難しいと思ったけど、やってみると楽しいし、意外と簡単だったのですぐうまくなりました。だんだんと曲がるコツや速くなれるコツがわかったので、友だちと勝負しました。このようにサイクリングやカヌー体験などを通して、自分の住んでいる地域には自然がたくさん残っているし、川、山、人々が一体となって昔から生活しているということがわかりました。

### ○『山や川をきれいに』

私は森林についての学習をして、自然はすごいなと思いました。黒尊神社にある大杉は樹齢500年以上だったので、驚きました。5年生11人で大杉が囲めたので、すごく太いんだなと思いました。そして黒尊神社の前の黒尊川に大蛇の好物の卵を投げ入れて、割れなければ、願い事が叶うという言い伝えで、卵を投げ入れたら割れなかったのうれしかったです。次に森林軌道跡についてです。森林鉄道は、大きな木をたくさん運んでいて、その途中から川でいかだを作って、遠くまで運んでいたと聞いて、昔の人はす

ごいなと思いました。その近くに水力発電所の一部分の跡がありました。昔は林業がすごく盛んだっただなと思いました。次に四万十川でカヌーなどをしました。四万十川は、すごくきれいでした。浅いところは、底がくっきりと見えました。少し流れが速かったので、昔の人はその流れを上手に使って、木を運んでいたんだなと思いました。今は便利なものがたくさんあって、何でもできるけど、昔は今みたいに便利じゃなかったけど、自然を上手に使ってすごいなと思いました。今、木が焼けたり切られたりしているので大切にしたいです。そしてリサイクルをしたり、川にゴミ捨てをしないように心がけたいです。

#### ○『東中筋とはちがう自然』

7月27日に5年生全員で西土佐に行きました。サイクリング活動でまず神殿橋に行きました。神殿橋の下には黒尊川が流れていて、透明度が高くとてもきれいでした。次に、森林鉄道軌道跡に行きました。そこでは近くに水力発電所の跡が残っていました。昔は森林鉄道で木を運んでいて、今もレールの一部が残っていると聞いていたので、電力を使って鉄道を動かしていたのかなと思いました。そして、黒尊神社奥の院に行き黒尊神社大杉に行きました。そこには樹齢約500年以上の大きな杉の木がありました。木の太さは、5年生全員(11人)が手を広げて円を作ったら囲めました。なのでとても太いことがわかりました。そして、奥屋内集会所に行って、昼食を取りました。それから、四万十楽舎に行って、カヌー体験をしました。とても深いところがあるので、ライフジャケットを着ていきました。川につくと軽トラがカヌーを持ってきてくれていました。そして乗り方や曲がり方を教えてもらって、早速乗ってみました。最初は不安定だったけど段々慣れてきました。川の流れが速かったので、流れのないところでいかだにも乗りました。それに姿は見えなかったけれど、魚もいたようで、サワガニやアオスジアゲハなど、東中筋にはいない生き物たちがいたので、東中筋とはちがう自然があるのだなと思いました。森林のなんとなく落ち着くにおいや風、川の流れる音などまた体験してみたいです。

#### ⑧活動の様子



事前学習



黒尊神社の大杉



四万十川でカヌー

#### ●森林環境学習

##### 木工クラフト体験学習

- ・森林教室（木の特徴について…木材は万能選手）
- ・木工クラフト体験（木材と親しもう）

##### ①ねらい

- 「山の学習」の一環として、森林の働き（木材は万能選手）について学習するとともに、木工クラフト体験を実施することにより、木材の良さを実感し、木材に親しみ、木材をより身近なものとして感じることを目

的とする。

②実施期日

令和2年12月18日(金)

③実施学年児童数

第1学年(男子4名、女子3名、計7名)内特別支援学級在籍児1名

第2学年(男子4名、女子2名、計6名)内特別支援学級在籍児1名

第3学年(男子3名、女子1名、計4名)

第4学年(男子2名、女子4名、計6名)内特別支援学級在籍児1名

総計23名

④講師

四万十川森林ふれあい推進センター職員

⑤日程

10:30～10:35 挨拶、職員紹介

10:35～10:45 「木材の特徴」について

10:45～10:50 木工クラフトの説明、作り方のアドバイス等

10:50～11:55 木工クラフト制作

(大王松を活用したクリスマス飾り等)

⑥準備物

学校・机2

・ポスカ、のこぎり、金槌、木工用ボンド、のこぎり  
カッターナイフ、釘等

・電源コードリール

・ビニルシート

ふれあい推進センター

・ストラップ、キーホルダー用材料一式

・動眼、金セット、サンドペーパー、ニス、はけ等

⑦児童の感想

1年

- ・かみが木でできているのを本とうなだとしりました。きりの木という名まえの木はしりませんでしたので、しれてよかったです。あと、ひのきという木もはじめてしたのでよかったです。まだほかのしゅるいの木をしってみたいし、じっさいにみてみたくになりました。
- ・いろいろな木をさわらせてくれてありがとうございました。重いものとかるい木があることをはじめてしりました。いろいろなものをじゅんびしてくれてありがとうございました。きれいなのがつくれました。たのしかったです。またやりたいです。
- ・わたしのいえが木でできているとおもいました。木がかかるかったり、おもかったりしていることをはじめてしりました。わたしは木をそとからさわったけど、木を切ったりしてさわることがないので、うれしかったです。かざりもじょうずにできました。いえで、おばあちゃんのへやにかざっています。

2年

- ・ぼくは、木ざいのことをいろいろしれました。かるい木やおもい木とかもすごいと思いました。作るのもむずかしかったです。えらぶのもちよっとむずかしかったです。でも、木工クラフトがすごく楽しかったです。またしたいです。3年になっても4年になってもできるって知ってうれしかったです。いろいろおしえて

くれてありがとうございます。

- ・1年生の時とちがうさくひんをよういして下さってありがとうございました。お家にかえってかあさんに「かわいいね。」と言われてうれしかったので、またできたらかわいいのをよういしてくださいね。また3ねんせいになっても木のことをおしえてください。まっています。
- ・このまえは、私たちに木のことをくわしく教えに来てくださってありがとうございました。わたしは、木がシロアリに食べられると知らなかったので、知ってびっくりしました。木工クラフトも楽しかったです。また来年も来てください。

### 3年

- ・この前はありがとうございました。わたしは、一番むずかしいと思ったところは、木のぼうを立てるところがむずかしかったです。わたしは、みんなとかわいいかざりつけができて、うれしかったです。日本で一番かるい木はキリという木だとは知らなかったなので、おぼえておきたいと思いました。また来年来てください。
- ・木工クラフトの時にいそがしい中来てくださってありがとうございます。日本で一番かるい木や重い木、世界で一番重たい木やかるい木は知らなかったけど知れてよかったです。クラフトの時には、やり方を教えてくれてありがとうございます。自分ではかわいいツリーができたと思います。また来年も来てください。待っています。

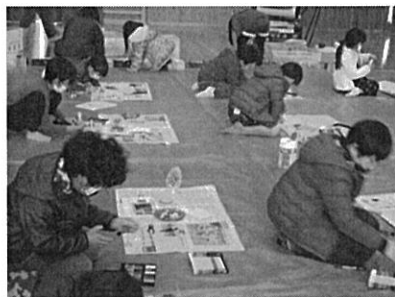
### 4年

- ・私がびっくりしたのは、世界一軽い木があるということです。バルサという木はスギなどにくらべてすごく軽くて、どうしてこんなに軽いのかなと思いました。それと木は、加工しやすく、くぎなどを打ちこみやすい、さらに木で作った建物はがんじょうなのはすごいと思います。松ぼっくりツリーは、アドバイスをくれたおかげで、時間内に作り終わりました。ありがとうございました。木のことを教えてくださったり、じゅんぴもしてくださりありがとうございました。
- ・ぼくは、今年は松ぼっくりツリーがあったからわくわくしました。それに木のことも忘れたところもたくさんあったので忘れたところをもう一回知れてよかったです。まず、日本の中で一番軽い木は、何だったか忘れていたけど、キリだと教えてもらって思い出しました。ぼくは家などに使われている木は、集成材もあることは知らなかったです。持ってみると軽かったです。キリとくらべるとキリのほうが軽かったです。木工クラフトでは、みんな自分の世界にむ中になっていたし、キャラクターの3つつ目を選ぶ時も全員が3つつ目をもらっていました。自分だけのかざりが作れていたし、色も工夫してぬれました。楽しかったです。有難うございました。
- ・わたしは、細かい作業が好きなので、木工クラフトをととても楽しみにしていました。そして木のことをあまり知らなかったので知れてよかったです。世界で一番かるい木と重い木を持ちくらべてみたけどぜんぜん重さがちがったので、びっくりしました。わたしは木工クラフトで、キャラクターを3つ選びました。それはサンタクロースと雪だるまと家です。サンタクロースも雪だるまもかわいくて、ていねいにぬれたので、うれしかったです。最後に完成したのを見るととってもかわいかったです。毎年木工クラフトを開いてくださって、ありがとうございます。来年もぜひ来てください。

## ⑧活動の様子



木材の特徴についての学習



作品作り



かわいいのができました

## ●森林環境学習

森林の恵みについての講話とシイタケの駒打ち体験(5年)

- ・森林の恵みについての学習(森林の恵みキノコについて)
- ・シイタケの駒打ち体験学習

### ①ねらい

○「山の学習」の一環として森林の働き(森林は私たちに様々な恵みを与えてくれている。)についての学習やキノコについての学習をするとともに、シイタケの駒打ち体験を実施することにより、森林の恵みを実感し、森林をより身近に感じることに繋げることを目的とする。

### ②実施期日

- ・令和 3年 1月20日(水)

### ③実施学年・児童数

- ・第5学年 男子7名、女子5名、計12名

### ④講師

- ・四万十川森林ふれあい推進センター職員

### ⑤日程

10:30~11:00	森林教室(教室) 森林と私たちの関わり、森林の恵みについて きのこやシイタケの生態について
11:00~12:00	シイタケの駒打ち体験(校庭)

### ⑥準備物

学校	シイタケ原木 径10cm 1m 50本 種駒 1000個 ドリル錐先 3本 コードリール3台 金槌、木槌 電子黒板
----	--

#### ふれあい推進センター

インパクトドリル、電動ドリル(計6台)  
ドリル錐先  
金槌、木槌  
パソコン  
森林環境教育用パネル

### ⑦児童の感想

- ・今日はお忙しい中、東中筋小学校に来てくださりありがとうございました。キノコは、日本には約 4000～5000 種類あり、食用とされているのは、約 100 種類で毒があるキノコは約 40 種類もあることと、キノコは菌類で、胞子が増えて1つのキノコから約 10 億つぶも胞子が出るということを初めて知りました。シイタケの駒打ちでは、やり方を教えてくれたりアドバイスをしてくれたので、上手にやることができました。本当に有難うございました。
- ・最初は、むずかしいかな、こわいかなと思っていたけど、やってみるととても楽しくてもっとしたいと思っていました。おじいちゃんがシイタケを育てているけど、仕組みがわからなかったけど、知れたのでまた作るときは、おじいちゃんと一緒にできたらいいなと思いました。あと、「ナスと一緒に煮込むと毒が取れる」というのは、私も聞いたことがあって、「あ～、そうなんだ」と信じていたけど、迷信だと聞いてびっくりしました。この機会にキノコを採ってみたい、と興味もできました。でも、どのキノコが毒なのかしっかりと調べたいです。
- ・今日は、わざわざ時間を取ってきてくださり、ありがとうございました。お話で、キノコの種類は、4000 種類から 5000 種類あると聞いて、びっくりしました。シイタケの駒打ち体験では、電動ドリルはすごくこわかったけれど、慣れてきたらすごく簡単で楽しくなりました。それにシイタケができるのが、1年以上先と聞いて、またまたびっくりしました。今日は本当に有難うございました。

### ⑧活動の様子



森林の恵み、キノコの学習



シイタケの駒打ち体験



シイタケの駒打ち体験

### ●森林環境学習

木材の活用と、組子細工による木のコースターづくり

- ・作品の鑑賞
- ・組子細工をしようと思ったわけ、生き方について（キャリア教育の視点）

#### ①ねらい

○木材によるコースターづくりを通して、木材の利用価値や木材の美しさ、目次を利用した芸術作品などについて理解を深めるとともに、森林の働きやすばらしさについても理解を深めたい。

#### ②実施期日

令和3年2月10日（水）

#### ③実施学年児童数

第6学年（男子12名、女子4名、計16名）内特別支援学級在籍児2名



④講師

濱中 伸也さん(組子細作家)

⑤日程

10:30~10:50

作品鑑賞と、濱中さんが組子細工をしようと思った理由、生き方についての講話(キャリア教育の視点も交えて)

10:50~11:50

組子細工のコースターづくり

11:50~12:05

お互いの作品鑑賞、まとめ

⑥準備物

学校 シート、のり、ハサミ、和紙

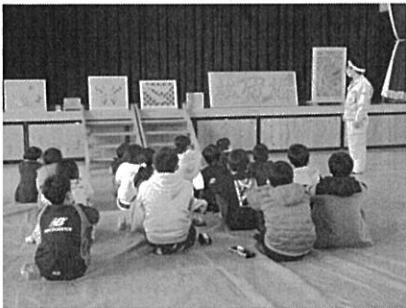
講師 組子の材料

観賞用作品数点

⑦児童感想

- ・この間は、森林学習で来ていただき、ありがとうございました。ぼくは、木で物を作ったりするのも、あまりしたことがないし、木が、くぎなどがいない状態でつながっているのがすごいなと思いました。そして組子が一つできるのに、あんなに時間がかかるのか知らなかったし、それが何個も使ってできていて、自分だったらとてもできないなと思いました。そして和紙を貼るのもむずかしかったので、これを何個も作れるのは、すごいテクニックがいることだなと思いました。森林学習を体験させていただいてありがとうございました。
- ・今日は、お忙しい中森林学習の教室を開いてくださりありがとうございました。わたしは最初に濱中さんの作品を見たときに細かい模様小さな木材でしきつめて作っていたので、びっくりしました。とても大きな作品なのに、使っているのは小さな木材で、しきつめてボンドも使わずに作っていると聞いた時は気が遠くなりそうな作業だし、集中力がないとできないだろうなと思いました。実際に組子細工を作ってみて、最初の木材を組み合わせて六角形にするところは、簡単だったけど小さな木材をしきつめる作業は難しかったです。最初はなかなか入らなくて、うまくいかなかったけれど、コツを教えて下さったおかげで、きれいにしきつめることができました。最後に和紙を貼って、日に照らすと光が入ってとてもきれいでした。わたしは工作が好きなので、作るのとても楽しかったです。わたしも濱中さんのように仕事もしながら趣味もしていきたいなと思いました。今日はありがとうございました。

⑧活動の様子



組子作品の鑑賞と講話



作品作り



全員完成しました。

## ●森林環境学習

森林の土壤に住む生物と山、川、海つながり

- ・森林教室（土壤に住む微生物）
- ・環境学習（プラスチックや空き缶、ビニル類の生物に与える影響）

### ①ねらい

- 「山の学習」の一環として、土壤に住む微生物について学習することを通して、森林の働きや、分解できない物の生物への影響など環境へ目を向けることができるようにする。

### ②実施期日

令和 3年 3月 3日（水）

### ③実施学年児童数

第6学年（男子12名、女子4名、計16名）内特別支援学級在籍児2名

### ④講師

四万十川森林ふれあい推進センター職員

### ⑤日程

- 10:30～10:35 挨拶、職員紹介
- 10:35～10:45 「森林の働き」について講義
- 10:45～11:55 「土に住む生物と山・川・海つながり」について講義と実験と観察

### ⑥準備物

**学校**・電子黒板、ケーブル、電源コードリール、スクリーン  
・ルーペ、簡易顕微鏡

**ふれあい推進センター**

- ・パソコン、プロジェクター
- ・実体顕微鏡
- ・生物顕微鏡
- ・移植ごて、ビニル袋、ピンセット、シャーレ
- ・観察用具一式、ハンドミスト（消毒用）
- ・図鑑、ワークシート

- 12月末に、①野菜、②落ち葉、③ペットボトル・空き缶を畑に埋設する。

### ⑦児童の感想

- ・今回は森林学習をしてくださってありがとうございました。ぼくは森林が「緑のダム」ということは知っていたけど、ほかにもたくさん役割があるということは知らなかったの、知れてよかったです。そして土の中をけんぴ鏡で調べたときは、数匹しかいなかったけれど、本当は見えないだけで何千万匹もいると聞いたときは、とてもおどろきました。ぼくもこんな仕事についてみたいなと思いました。
- ・今日はお忙しい中、私たちのために来てくださってありがとうございました。わたしは森林が降った雨を土や根でためて少しずつ川に流しているから「緑のダム」と呼ばれていることは知っていたけど、木の根が山くずれを防いでいるということは知らなかったの、なるほどなあと思いました。それと血液や水はじゅん環していることは知っていたけど森林も枯れ葉や動物の死が

い、動物のフンを、生物が細かくし、それをもっと小さな生物が分解し養分に変え、その養分で木が成長しそこに動物が暮らして、その動物が死んで…と森林でもじゅん環していることは知らなかったの、知ることができてよかったです。わたしたちが知らないところで、森林を大切にしてくれている人たちや組織があるということも分かったし、民有林と国有林のちがいにについても知ることができました。1gの土の中に生物が数十万匹もいると知ってびっくりしました。わたしは山が近くにあるので、これから山にも登ることがあると思います。そんな時に山でごみを見つけたら、拾って森林や山を大切にしていこうと思いました。

- 今日の授業で分かったことは、自然がきれいだと森にすむ生き物が住みやすくなることや、森林の働き、そして水のじゅん環を復習することができたし、学ぶことができました。そして人工林や天然林があるということは知っていたけど防風林や海岸林があることは知らなかったの、将来、海の近くに引越したら防風林や海岸林があるところにしたいです。今日の授業で大事なことを学ぶことができました。それに土の中にペットボトルなどを入れても、くさらないことが分かったの、これからはごみを自然の中に捨てないようにしたいし、捨てられていたら拾える時は拾うようにしたいです。今日最後にやった土の中を見るというので、私は見つけることができなかったけど、ほかの人は見つけることができていてすごかったです。それに自分で思っていたよりもたくさんいたのでびっくりしました。ありがとうございました。

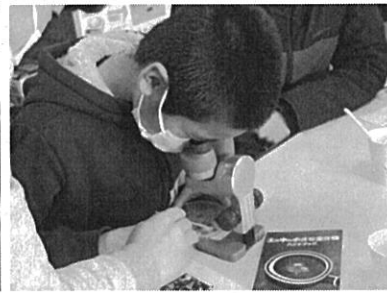
### ⑧活動の様子



埋設物の掘り出し



森林環境教室



土壌に住む微生物観察

- 森林環境学習の一環として高知県環境活動支援センター主催の「環境絵日記」応募（1～6年生 応募49名）【1学期～2学期】

#### ①ねらい

- 「山の学習」の一環として環境や自然などについて考えていることや体験したことについて絵日記形式で表現する。
- 今年度のテーマ「守りたい！ぼく・わたしの好きな環境」

#### ②実施学年・児童数

- ・ 1～6年生（49名応募）

- ③ 7月下旬の朝会で、環境絵日記の目的等について校長より話し、夏休みの全員の宿題として応募した。

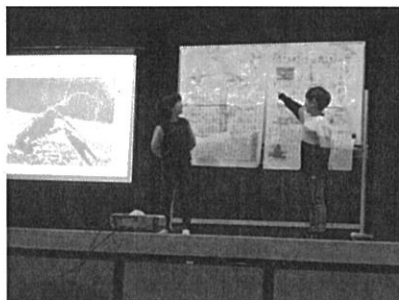
●学習発表会において、1年間に学習したことのまとめ等を発表

- ・各学年、「ふるさと学習」「地域とのふれあい」「地域の自然や環境保護について」「米づくりを通して学んだこと」ことなどをテーマに、学習のまとめや成果を発表した。

①活動の様子



たくさんの方が参観くださいました。



2年生学校の周りの自然と生き物



5年生稲作と環境

### 3、成果と課題

#### <成果>

- 森林学習や森林体験学習を通して、森林の素晴らしさや環境の大切さを一人ひとりが体感するとともに、この素晴らしい自然が多く残されている高知県や四万十市、自分たちの住む東中筋地域に誇りを持つとともに、今後もみんなで森林や自然環境を大切に守ろうとする意識の向上につながった。
- 木工クラフトや組子細工での工作、シイタケの駒打ち体験、土壌中の微生物等の学習を通して、森林と自分たちとのかかわりについて楽しみながら意欲的に学習することができ、木材の良さや利便性、森林環境のすばらしさについても理解し、森林や自然環境に対する興味・関心、意識の向上につながった。
- 環境絵日記（全校）、環境学習感想等を書き出品や応募することで、森林や環境に対する意識の向上、併せて意識の高まりにつながった。
- 学習したことを学習発表会や子ども高知新聞、学校通信等で保護者、地域に広く発信することで、身の回りにある自然環境の素晴らしさを再認識するとともに、地域に誇りを持ち、自然環境を守っていこうとする意識につながった。

#### <課題>

- 今後も「森林環境学習」を柱に総合的な学習や生活科、社会科や国語科、図画工作科等の内容と関連づけて取り組むために、年間を通してまた学年間を通して教科横断的かつ計画的に山の学習（森林環境教育）を組み込みたい。そのためには、カリキュラムマネジメントをしっかりと行い、教科間の関連性や学年間の系統性を持って計画していくことが必要である。

